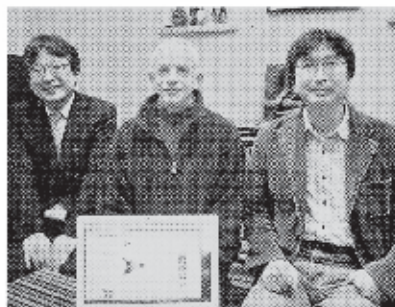


# 携帯プレーヤーで 観光用音声ガイド

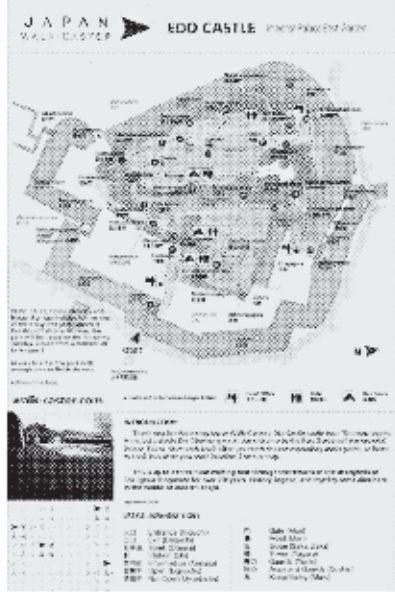
## コース地図も添付

街歩きも地図片手から、ヘッドホンで音声ガイドを聞く時代に——。インターネットで観光名所の音声ガイドを地図とともにダウンロードし、自分の携帯音楽プレーヤーで聞くシステムを葛飾区のデザイン編集制作会社・アルファテキストが開発し、今月からサービスが始まった。英語版ガイドは日本の歴史を愛する来日40年のアメリカ人社長らがナレーターを務め、日本を訪れる外国人観光客向けに東京名所を紹介している。(宇佐美貴子)

### 葛飾の会社、日英2カ国語で開発



音声ガイドには英語版と日本語版がある。英語ガイドは、観光客に人気の皇居、浅草、「谷根千」(谷中・根津・千駄木)、小石川植物園、新宿御苑など東京の14カ所。日本語版は、イギリス・ロンドンの中心部とウエストミンスター寺院周辺の2カ所を案内する。



仕組みは美術館や博物館の音声ガイドと同じだ。音声ファイルには各コースの地図が添付されている。地図上に示されている番号の場所に立ち、その番号のファイルを再生すれば、案内が聞ける。歩く速度などによって違い

はあるが、1コースの時間は1時間半〜3時間。一度ダウンロードすれば、何度でも聞ける。日本国内で購入する場合の値段は1本9000〜15000円。同社のウェブサイト「ジャパン・ウォーク・キャスタ」(<http://walk-cast.com>)からアップル社のダウンロードサイト「iTunes」に入って購入する。オンラインストアの「アマゾン・ドット・コム」の英語版では、全世界で同じファイルが購入できる。

このような観光客向け音声ガイドを提供するサービスは海外でも出始めている。海外で制作された英語ガイドを日本語に翻訳すればコースの種類が増えるので、「海外旅行

をする日本人向けのサービスも向上できる」と、同社の塩屋徹さん(54)はいう。今後、英語版は鎌倉や奈良などの古都に広げ、日本語版はイギリス国内を充実させていく予定だ。

開発したアルファテキストは社員3人だけの小さな会社だ。社長のパトリック・ラボルさん(59)は、40年ほど前に来日したシアトル生まれのアメリカ人。日本史を勉強するために留学し、そのまま大好きな日本で暮らしている。

「日本の歴史を知ってみたいので、食べ物や買い物などではないアカデミックなガイドを目指している」とラボルさん。だから、「皇居」は「江戸城」として説明している。

●音声ガイドを制作した3人。右から塩屋徹さん、社長のパトリック・ラボルさん、営業担当の伊藤大さん。葛飾区金町5丁目

●音声ガイドに添付されている地図。自分の携帯音楽プレーヤーで案内を聞きながら番号に従って歩く